



2026 年 3 月 31 日

株式会社 Schoo

報道関係者各位

社員の学びの質を高める対話型プログラム「気づきダイアログ」を本格展開

～「正解を教える研修」から「多様解を分かち合う学び合い」へ～

気づきダイアログ

～ 学びあいワークショップ ～

対話で「学びの言語化」から「行動変容」まで
一気通貫を促す対話型学習プログラム

 Schoo for Business

インターネットでの学びや教育を起点とした社会変革を行う株式会社 Schoo（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO：森 健志郎、以下「スクー」）は、対話を通じて「学びの言語化」から「行動変容」までを一気通貫で促す対話型学習プログラム「気づきダイアログ」を本格展開します。

本プログラムは、事前の動画視聴とワーク、当日のワークショップを組み合わせ、受講者同士の対話によって学びを自分事化し、実務につながる気づき・行動の変化を後押しします。すでに大手企業を中心に延べ 1,000 名以上が体験し、受講者アンケートでは 93%が「学び合いが楽しかった」と回答するなど、学習継続の動機形成にもつながっています。

■ サービス提供の背景

生成 AI の急速な普及をはじめ、業務の前提や求められるスキルは短いサイクルで更新されています。いま企業には、社員が学び続け、学んだことを現場で試しながら使いこなす学習を実務に接続する仕組みを、組織としてどう育てるかが問われています。

一方で、集合研修や e ラーニングはインプット中心になりやすく、「学んだことが現場で活かされない」「研修が形骸化する」といった課題も根強く存在します。加えて人事部門では、ステークホルダー調整や他業務との兼ね合いから、新しい施策の企画・運用に十分な時間を割けないケースも少なくありません。

こうした状況で求められているのは、「正解」を効率的に習得させる研修の良さを活かしつつ、社員が学びを言語化、そして他者との対話を通じて「多様解」を獲得し、行動変容へつなげる気づきを得ることにより、自律的な学びへとシフトしていくことです。

本プログラムは、これまで一部の導入企業様に限定して提供し、実践・改善を重ねてまいりました。大手企業を中心に延べ 1,000 名以上の方に体験いただき、「93%が学び合いが楽しかった」と回答。また、また「学んだことを実務に活かそう」といった、行動変容への手応えにつながる声も寄せられるなど、確かな学習効果と行動変容の成果が実証できました。

この度、これまでのノウハウを体系化し、導入していただきやすい形としてサービス化が完了したため、専用 Web サイトを公開し、対話型学習プログラム「気づきダイアログ」としてすべての企業様に向けて正式提供を開始いたします。

■ 「気づきダイアログ」で実現できること

「気づきダイアログ」は、知識のインプットで終わらせず、対話によって学びを深め、行動につなげる“学び合い体験”を提供します。

1) 他者視点で思考をアップデート

自分の思考の枠組み（自分脳）だけで考えるのではなく、他者の視点（他者脳）を借りることで、前提にとらわれない新たな着想や、次の一步につながる気づきを得やすくします。

2) 「言語化→対話→獲得→行動」のプロセスで主体性を引き出す

「学びの言語化」→「対話」→「他者視点の獲得」→「行動変容」の流れを設計し、社員が学びの主体を自分に取り戻すきっかけをつくります。

3) 学習文化の定着と“つながり”の強化

自身の経験と自分なりに得た学びを共有することで、組織内のつながり（社会関係資本）が強化されることに加え、不確実性の解消に向けた知恵（学習資本）を蓄積します。他者視点から学びを得るという「学び方を学ぶ」体験は、自律学習が当たり前になる組織づくりの「ドアノック」となります。

■プログラム概要

「気づきダイアログ」は、事前学習とワークショップで完結する最短 150 分の 1day プログラムです。

プログラム構成

01 Pre-Learning

動画視聴+事前ワーク

約60分 各自のスキマ時間で

Schooの動画を視聴し、「印象に残った学び」と「その理由」を言語化します。自身の思考の癖を可視化し、対話の準備を整えます。

02 Workshop

気づきダイアログ

当日90分 拘束時間はこれだけ

集まったらすぐに「対話」からスタート。互いの気づきを共有し、「同じ動画を見ても視点が違う」体験を通じて他者視点を取り込みます。

● 動画視聴+事前ワーク（約 60 分）

各自のスキマ時間に Schoo 指定動画を視聴し、「印象に残った学びを 3 点」と「その理由」を言語化。思考の癖を可視化し、対話の準備を整えます。

● ワークショップ（当日 90 分）

ファシリテーターのもと、学びを共有・対話することで他者視点を獲得し、新たな着想や行動のヒントを得ます。

活用シーン例

- リーダーシップ研修
- 新入社員研修
- 組織横断の学習・共通言語づくり など

※企業の目的やフェーズに合わせてプログラム内容のカスタマイズが可能です。

伴走サポート

事前に実施要件をヒアリングし、Schoo for Business の授業動画から最適なコンテンツをご提案。企画～実施～レポート作成までスクーが伴走し、担当者の運用負担を抑えます。

効果の可視化

実施後、受講者アンケートをもとに「振り返りレポート」を作成し、研修結果を数値・コメントで可視化。学び合いが組織にどのような変化をもたらしたかを整理します。

■ 詳細・お問い合わせ

【Schoo for Business をご契約中の企業様】

ご契約プラン・実施規模に応じて、初回のワークショップを追加費用なしでお試しいただけます。詳細は下記ページより、カスタマーサクセスまでご相談ください。

<https://schoo.jp/biz/lp/kizuki-dialogue>

【Schoo for Business をまだご契約されていない企業様】

本プログラムは Schoo for Business をご契約中の企業様向けのプログラムになります。まずは、Schoo for Business 導入について、以下よりご相談ください。

https://schoo.jp/biz/request?type=document&utm_source=msnad&utm_medium=cpc&utm_campaign=001.Brand&utm_term=schoo&utm_content=1315017530819762&ref=bplisms&cr=&mt=p&msclid=ae46426149e0149d0df62ba1b2f40b86

■株式会社 Schoo について

「世の中から卒業をなくす」をミッションに、インターネットでの学びや教育を起点とした社会変革を進めている。オンライン生放送学習コミュニティ「Schoo for Personal」は2012年のサービス開始後、「未来に向けて、社会人が今学んでおくべきこと」をコンセプトとした生放送授業を毎日無料提供。過去の放送は録画授業として約9,000本公開中。法人向けには社員研修と自己啓発学習の両立を実現する「Schoo for Business」を提供し、累計登録会員数は約140万人、累計導入企業数は4,500社を突破。2021年には双方向授業型ラーニングマネジメントシステム「Schoo Swing」を提供開始。また、2025年2月には、いつか地域で働きたい人のための移住転職コミュニティ「LoLLL（ロール）」、10月より地域共創型人材育成サービス「Schoo Mesh（スクー メッシュ）」を提供開始。全国累計約82の自治体との提携をはじめ、奄美大島と包括協定を行うなど、地方エリアへの遠隔教育普及によって実現する「未来の暮らし」の確立も進めている。

（※数字は2025年12月時点累積）

会社名	株式会社 Schoo（スクー）	代表者	代表取締役社長 CEO 森 健志郎
設立	2011年10月3日		
所在地	〒150-0032 東京都渋谷区鶯谷町 2-7 エクセルビル 4 階		
事業内容	インターネットでの学びや教育を起点とした社会変革		
URL	https://corp.schoo.jp/ （コーポレートサイト） https://schoo.jp/ （個人向けサイト） https://schoo.jp/biz （法人向けサイト） https://dx.schoo.jp/ （高等教育機関向けサイト） https://note.com/schoo （公式 note）		